

新

年おめでとうございます。町民の皆さまにおかれましては、希望も新たに清々しい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃より町行政の推進に對しまして、温かいご支援とご協力をいただき、おかげさまで各施策についても円滑な進捗が図られています。心から厚くお礼申し上げます。

皆さんご承知のとおり、今年「平成」最後の年でもあり、5月には新しい元号となります。

平成を振り返ってみますと、真つ先に思い浮かぶのが平成元年に導入された消費税であります。この税は、社会経済環境が大きく変化し、消費やサービスの多様化が進んだことに伴い、それまで贅沢品に課せられていた物品税に替わって導入されました。

また、人口減少・少子高齢化等の社会経済情勢の変化や行政財政基盤の確立を目的として推進された「平成の合併」も記憶に新しいところでもあります。

さて、本町はと申しますと、平成の前半は主に、国道6号バイパスや北関東自動車道をはじめとする道路や橋梁、また、二つの工業団地の整備、桜の郷事業、公共下水道の供用などインフラ面での施策が推進されました。

一方後半は、基礎基本をしっかりと練り直し、喫緊の課題である人口減少対策として、婚活応援推進事業、移住定住支援補助金、不妊治療費助成、出産祝金支給事業、奨学金貸付事業などの新たな施策や、町の未来を担う子どもたちの為、小中学校校舎の大規模改造



茨城町長 小林 宣夫

工事、ICT教育の導入など教育環境の整備を充実させました。さらに、基幹産業である農業の活性化に向け、農業公社の設立、県内では初となる国営緊急農地再編整備事業などを展開してまいりました。

間もなく平成が幕を閉じ、新たな時代がスタートしようとしております。これからも、町民の皆さまと行政が知恵と力を出し合い、協働して町の発展を進めていくことができ、茨城町の新しい展望が必ず開けるものと確信をしております。

本年も関係機関や各種団体と緊密に連携し、町民の皆さまのご協力を賜りながら、魅力あふれる郷土づくりに一丸となって取り組んでまいりますので、ご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びに、本年が町民の皆さまにとりまして幸多い一年になりますことを心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。



謹

んで新春のご祝詞を申し上げます。町民の皆さまにおかれましては、ご健勝で希望に満ちた新春を晴れやかに迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

また、旧年中は町議会に對しまして、格別のご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、本年は大きな節目の年であります。5月には新天皇が即位し元号が改元され、10月には消費税率の引き上げが予定されております。

このような年にあつて、現在の地方を取り巻く状況は、少子高齢化と人口減少がより一層本格化し、地域における活力の低下が懸念されております。これまでの既存の枠組みにとらわれない新たな視点から、地方創生の取り組みや行政サービスの維持・充実を推進することが強く求められています。

町では、昨年3月に策定した「茨城町第6次総合計画」に基づく政策・施策を着実に進め、町の将来像として掲げる「三世代が共に輝く元氣交流空間 夢と希望を未来へつなぐまち」の実現に向け取り組んでいるところであります。

その中でも、町の最重要課題となる人口減少対策については、新たな視点と発想を加えるとともに、子育て支援施策の一層の充実、快適で安全・安心な生活環境の整備、特色ある教育文化環境の整備、産業育成と雇用の確保、生活基盤の整備など、様々な分野におけ



茨城町議会議長 福田 茂

る取り組みを一体的に行う総合的対策を早急に実施する必要があります。

議会といたしましても、二元代表制の一翼を担う役割と責任を十分に果たすべく、町が行う各種施策に対する監視機能を一層強化していくとともに、町民の皆さまのご意見を率直かつ謙虚に受け止め、その声を迅速に町政に反映させるよう精一杯努力してまいるところでございます。

さらに、町民の皆さまからの厚い信頼と期待に応えられるよう、町民福祉の向上に向けた政策立案機能のさらなる充実に努めるなど、町の発展のため、議会一丸となって取り組んでまいります。

結びに、今後とも町議会に對しまして、一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。議会を代表しての新年の挨拶といたします。

謹賀新年